

自己評価				学校関係者評価			
学校運営計画(4月)				評価(総合)	評価(総合)		
<p>学校運営方針</p> <p>1 学習活動・学校行事等において生徒の主体性を重視しつつ、生徒の実態に目を向けて、一人一人に寄り添った教育活動を推進する。 2 多様化する社会に柔軟に対応するため、いじめや差別を生まない「人権教育」、校則等の在り方を考える「法理解教育」、生き方在り方につながる「探究活動」に取り組む。 3 自己実現を図る進路目標を設定させ、その達成を支えるチーム支援体制と高い目標にも挑戦できる進路指導体制を構築する。</p>				A	A	自己評価は	
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>新教育課程を踏まえた時制の見直しや観点別評価を職員間での協議や研修を通じ実施することができた。また、感染対策を取りながら、鳳雛祭や体育祭等の学校行事を生徒が主体となって3年ぶりに通常開催し、成功に導いた。さらに、アンケート等にGoogle Forms等のICTを活用したり、職員間の連絡にポータルサイトを活用したりすることで、業務量を削減できた。 一方で、生徒の学力間格差の広がりが抱える悩みの複雑化、進路目標の多様化に伴い、一人一人に寄り添った指導・支援を行うため、外部諸機関と連携し、組織的に課題解決を図る必要がある。また、集会等での対話を通して、生徒の規範意識や帰属意識、自己肯定感のさらなる向上を図る必要がある。</p>		<p>年度重点目標</p> <p>幅広い教養の獲得を促す学習指導と授業改善 幅広い経験に基づく人間形成を図る生徒指導 高い志を持って自己実現を図る進路目標の設定とその達成を支える進路指導</p>				<p>具体的目標</p> <p>生徒の主体性や意欲を引き出す学習指導を展開し、生徒が自ら課題意識や向上心を持って、粘り強く学習に取り組む姿勢を育成する。 生徒の多様な学力実態を踏まえ、生徒の力を最大限伸ばすために、ICT機器や一人1台端末を最大限に活用して「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を推進する。 時制改編、観点別評価の運用、考査の見直し、学校行事の精選等、教育課程の改善を通して、生徒が充実感と達成感を持つことのできる教育活動を展開する。 生徒理解を通して、一人一人に寄り添った「発達支持的」生徒指導を展開するとともに、問題行動等を未然に防止する「課題予防的」生徒指導を推進する。 生徒の主体性を重視した学校行事や部活動を通して、自己の役割に対する責任感の醸成を促し、何事にも主体的に参画していく姿勢の育成を図る。 多様なボランティア活動や地域貢献活動への積極的な参加を通して、母校と地域への誇りを高め、生徒の非認知能力と自己肯定感の育成を図るとともに、自らの生き方・在り方を考える契機とする。 朝課外の廃止に伴い、正課授業の中や家庭学習において、無理なく学習量を確保させるための工夫を行うとともに、長期休業中の集中講座を個々の生徒の習熟度に合わせた形態へ見直しを行う。 模擬試験等の的確な分析を行い、生徒の客観的状況の正確な把握とその共有を図るとともに、一人ひとりの可能性を引き出すための指導方法の研究を行う。 3年間を見通して、大学入試改革に対応した学習指導の計画と実践に取り組むとともに、個々の多様な進路希望に対応する教科指導力の向上と組織的相談体制の整備を推進する。</p>	
<p>評価項目</p> <p>具体的目標</p>		<p>具体的方策</p>				<p>評価(3月)</p> <p>次年度の主な課題</p>	
教育推進部	教育計画課	本校の教育目標を実現するための学習指導について研究する。 教科・学年等と連携し、生徒が充実感や達成感を感じられる教育活動の展開を支援する。	主体的に学習に取り組む生徒の育成に必要な学習指導の充実に向け、各教科の支援を行う。 授業改善や校務支援システムの研究を引き続き行い、生徒の学習活動を支援する。 個に応じた弾力的な指導を行うための体制づくりを行う。 考査のみによらない評価方法の研究や考査の見直しを進める。	A A A A	A A A	A	・生徒が主体的に学習に取り組む姿勢の育成に向け、きめ細かな支援を行っている。 ・アンケート等は引き続きデジタル化を進めていただきたい。
	企画庶務課	本校の教育目標につながる、式典やPTAの活動を企画・実施する。 生徒や職員の学校生活の充実に資する活動を展開する。	中高が一体となった式典やPTA活動ができるように、学年や他分掌と連携する。 式典等において、対面実施とオンライン実施の両方を効果的に活用していく。 奨学金等の周知に努め、生徒の進路設計を支援する。 校内の机脚等の環境を整備し、厚生の実感を図る。	B A A A	A A A	A	・中高一貫教育校のメリットを活かし、多くの場面で中学校、高校の生徒と一緒に活動できる機会を提供し学校生活の充実を図っている。 ・クラス数が増えているので、適切な環境整備をお願いしたい。
	広報課	宗像高校の魅力を発信する効果的な広報活動を展開する。 地域や近隣の学校と情報を共有し、連携を図る。	ホームページ、インスタグラム等をタイムリーに更新し、内容の充実を図る。 中学校への情報発信、中学校訪問等の広報活動を強化する。 積極的に外部と交流し、学校の良さをアピールし、発信する。 生徒会や同志を募り、各種イベント、ボランティアへ積極的に参加を促す。	A B A A	A A A	A	・学校行事や部活動の取組や成果を効果的かつタイムリーに発信することで、学校の魅力を広く周知している。 ・生徒が作成したものを発信できる機会がもっと増えることを期待したい。
生徒支援部	生徒指導課	高い規範意識と自律の精神、共感する心を持った生徒の育成を目指す。 学校行事や部活動への主体的な取組を通して、探求力やコミュニケーション力、チャレンジ精神をもった生徒の育成を目指す。	場に応じた清々しい挨拶を行うことができる生徒を育成する。 安全な学校生活の確立を目指し、ルールやマナーを身につけた生徒を育成する。 行事や部活動に積極的に参加させていく中で、学年や学校を代表するリーダーを育成していく。 活動の目的を明確にし、そのために必要な取組を学校全体で協力・連携しながら支援していく体制を作る。	B B A A	B B A	A	・校則の見直し等による変化、生じた課題を踏まえ今後の対応策等を検討いただきたい。 ・基本的な挨拶はもちろん、交通ルール等の指導を行うことで、生徒が主体的に判断できる態度を育成している。
	保健環境課	生徒に自らの健康に関する意識を高めさせ、心身ともに安心できる生活環境を整える。 継続的な感染症対策に加え、自ら意欲的に美化衛生活動へ取り組む姿勢を定着させる。	生徒の状況を把握し、収集した生徒の情報を共有し、素早く還元するための方策を充実させる。 スクールカウンセリングの相談活動を有効的に行うため、情報交換を密に行い、最良の支援を実施する。 周りに対する感謝の気持ちや誇りを持ち、校内美化や環境保全活動に、積極的に取り組む生徒を育てる。 各種委員会の活動への支援を通して、何事にも主体的に取り組むことの大切さを生徒へ浸透させる。	A A B A	A A B	A	・生徒の個々の状況に応じた寄り添ったアドバイスや支援を行っている。 ・美化活動への意識も定着している。 ・個々の生徒への支援を今後も期待したい。
	進路指導課	新課程や多様な進路希望に対応し、目標達成を支援する進路指導を行う。 興味・関心、資質・能力を踏まえた進路選択および受験種類の選択ができる生徒を育成する。	入試の多様化に関する情報を共有し、指導法に反映させるとともに、生徒への適切な情報発信に努める。 生徒一人一人の多様な進路希望に対応する組織的な指導体制を再構築する。 「夢に向かって」の活用を促し、進路実現に不可欠な学力を身に付けるための学習習慣を意識づけ。 模試結果等を進路選択や目的を絞った学力補充に生かせるように各学年で分析し、全体で共有する。	B B A A	A A A	A	・生徒の希望する進路や学習状況に応じた指導を行うことで、目標達成に向けた支援を行うとともに、具体的な目標を立てられるアドバイスを行っている。
研究開発部	キャリア教育課	「総合的な探究の時間」における探究活動の充実とレベルアップを図る。 自己実現に向けて、幅広い視野を持つとともに、自身の興味関心を突き詰める機会を設定する。	生徒と教員がともに探究活動への理解を深め、探究に必要な考え方や技術を身に付ける。 生徒の興味関心に即した探究課題を設定させ、効果的な支援を行う。 大学等との連携事業を活用し、多様な学問分野への興味関心を深める。 キャリアパスポートの活用により、それまでの自身の活動と未来設計を振り返りつつ、自己理解を深める。	A A A B	A A A	A	・様々な取組をしていただき感謝している。 ・生徒のアンケート等も参考に今後も活動を検討していただきたい。 ・生徒が自分の将来に向けたイメージをもち、それに向けた未来設計ができるよう支援している。
	研修課	教育改革や喫緊の課題に対応するべく、職員研修の充実と精選を図る。 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善、ICTの活用を推進する。	生徒の実態や本校の現状を踏まえた職員研修を企画し、実施する。 教育計画課等と連携し、観点別評価の充実・発展に向けた研修を実施する。 一人一台端末の活用をテーマとした研究授業を実施する。 学習指導におけるICT機器の有効な活用に関する情報を収集し、事例を共有する。	A A A A	A A A	A	・先生方の授業研究等の時間が日中に確保できることを願っている。 ・ICTを活用した効果的な授業展開を図っている。
	図書課	生徒の主体的な学びを支援する「学習情報センター」としての機能を充実させる。 生徒及び図書委員会の協働的な活動を促す取組をし、「読書センター」としての機能を強化する。	選書委員会や総探委員会と連携を取り、授業での学びを拡大深化させるための書籍の収集に努める。 図書館にある書籍・情報を積極的に紹介・案内し、探究的学びを支援する。 生徒及び図書委員会の活動や成果物を積極的に発表・評価し、主体的な読書活動を奨励する。 各図書館行事を通して、生徒及び図書委員会の協働的な学びの機会を有意義なものとする。	A B B A	A B A	A	・多くの生徒が図書館を訪れ、効果的に利用できるよう生徒と一緒に、書籍の紹介や案内を行っている。 ・本ならではの良さを伝える、みんなで共有する活動を行ってほしい。
学年部	第1学年	宗高生としての生活習慣を確立させ、自律と協働の態度、自己の役割に対する責任感を育成する。 高い志を持ち、自ら学習に取り組む姿勢、粘り強く努力する姿勢を養う。	行事や日々の活動を通じ、心身の成長とともに協働性や思いやりの心の育成を図る。 一人一人が活躍できる場面を設定し、自己の役割に対する達成感や責任感の育成を図る。 「夢に向かって」を活用し、予習、授業、復習の習慣化を図り、基礎学力の定着と学習習慣の定着を図る。 総合的な探究の時間などを通して、生徒が課題意識を持って主体的に取り組む姿勢を育成する。	A B A	A A B	A	・行事をとおしてお互いを尊重する心を養いながら、主体的かつ自主的に学校生活が送れるよう工夫を行っている。 ・学校に慣れる、学力が見につくような取組に感謝している。
	第2学年	中堅学年として、学校文化の継承を意識し、学校の中心的存在としての役割を自覚させる。 志を高く持ち、夢に向かって地道に学習に取り組む姿勢を養う。	気持ちのよい挨拶ができ、礼儀・礼節を重んじる明るい生徒を育成するため、日々の意識向上に取り組む。 学校行事や探究活動を通して、社会の中の様々な課題に気づかせ自ら解決しようとする姿勢を養う。 「夢に向かって」を活用し、日々の生活を振り返り、志高く学習を継続する姿勢を育成する。 総合的な探究の時間を通して、課題を設定し、自ら解決しようとする態度を養う。	B A B	A A B	A	・中堅学年として活躍する場を創出することで、生徒自らが主体となる活動を行っている。 ・様々な行事等があり、めりはりをつけて学習にも取り組んでいる。
	第3学年	高い志を持って自己実現を図るために、主体的に学習し、粘り強く努力する生徒を育成する。 最高学年としての自覚と誇りを持って、行事等でリーダーシップを発揮できる生徒を育成する。	面談や「夢に向かって」等を効果的に活用し、日々の生活を振り返り、計画的で継続的な学習ができる生徒を育成する。 様々な入試の形態、多様な進路希望に対応した進路指導と幅広い学力層に対応した学習指導を行い、自信を持って進路目標に挑戦する力を育成する。 文化祭や体育祭等の行事を通して、何事にも主体的に参画する姿勢と宗高の精神を持った生徒を育成する。 あらゆる場面での生徒指導により、最高学年としての自覚と高い志、謙虚な姿勢を育み、自律した態度で学校生活を送ることができる生徒を育成する。	B B A B	B B B	A	・学校行事では最高学年として、リーダーシップを発揮している。 ・入試に関する情報収集と生徒への周知を引き続きお願いしたい。
学校いじめ防止基本方針	全職員の共通理解の下、組織的にいじめを生まない学校風土作りを推進する。 いじめ・不登校対策委員会が定期的に取組を検討・改善する。	校内研修により職員の共通理解を図り、スクールカウンセラー等専門家の意見を交え、担任や職員全体への助言等を取り入れ、いじめを生まない環境作りに取り組む。 個人面談・教育相談を定期的・計画的に行い関係職員で連携し課題解決に臨む。 定期的なアンケート等を実施し、日常的に生徒の把握に努める。	A A A	A A A	A	・いじめ行為の早期発見に引き続き力を入れていただきたい。 ・中学校の時とは違う課題も多いことから、より徹底した環境づくりや体制づくりを期待したい。	

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策	評価項目以外のものに関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習に取り組む姿勢の育成に向けてきめ細かな支援を行うとともに、ICTを効果的に活用した授業改善を進めていく。 ・学校行事や部活動等、生徒の取組や成果をSNS・学校HPにタイムリーに発信するとともに、地域や中学校との連携・交流の機会を増やして学校の魅力を広く周知していく。 ・生徒理解に一層努め、一人一人に寄り添った指導・支援を全職員で組織的に行うとともに、外部機関や専門家との連携をより密に行っていく。 ・生徒一人一人の多様な進路希望の実現に向けて、新課程や年内入試等にも対応できる組織的な指導体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明は、生徒が主体となって活動する場面があり、志願者が共感でき分かりやすい内容であった。